



デジタルスチルカメラ

RX1RⅢ

スタートガイド WW697160/WW402748

Cyber-shot

DSC-RX1RM3

ヘルプガイドについて



本機の詳しい使いかたは、ヘルプガイド(Web取扱説明書)をご覧ください。

<https://rd1.sony.net/help/dsc/2510/ja/>

DSC-RX1RM3 ヘルプガイド

警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

本書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。本書をよく読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところにお必ず保管してください。

警告 安全のために → 裏面もあわせてお読みください。

誤った使いかたをしたときに生じる感電や傷害など人への危害、また火災などの財産への損害を未然に防止するため、次のことを必ずお守りください。



「安全のために」の注意事項を守る

定期的に点検する

1年に1度は、電源プラグ部とコンセントの間にほりかたまっていないか、電源コードに傷がないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

カメラやACアダプター、バッテリーチャージャーなどの動作がおかしくなったり、破損していることに気がついたら、すぐに相談窓口へご相談ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら
煙が出たら

- ① 電源を切る
- ② 電池をはずす
- ③ 相談窓口に連絡する

裏面に相談窓口の連絡先があります。

危険 万一、電池の液漏れが起きたら

- ① すぐに火気から遠ざけてください。漏れた液や気体に引火して発火、破裂のおそれがあります。
- ② 液が目に入った場合は、こすらず、すぐに水道水などきれいな水で十分に洗ったあと、医師の治療を受けてください。
- ③ 液を口に入れたり、なめた場合は、すぐに水道水で口を洗浄し、医師に相談してください。
- ④ 液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流してください。

警告表示の意味

本書と製品では、次のような表示をしています。

危険

この表示のある事項を守らないと、極めて危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生します。

警告

この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生することがあります。

注意

この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、けがや財産に損害を与えることがあります。注意を促す記号



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



ぬれ手禁止

行為を指示する記号



プラグをコンセントから抜く



指示

電池について

安全のためにの文中の「電池」とは、「バッテリーパック」も含みます。

準備する

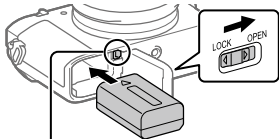
付属品を確認する

()内の数字は個数です。

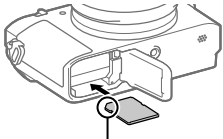
- カメラ (1)
- リチャージャブルバッテリーパックNP-FW50 (1)
- ショルダーストラップ (1)
- レンズキャップ (1) (本機に装着)
- シューキャップ (1) (本機に装着)
- アイピースカップ (1)
- ラッピングクロス (1)
- スタートガイド(本書) (1)
- 保証書 (1)

バッテリー（付属）/メモリーカード(別売)を入れる

バッテリー /メモリーカードカバーを開き、バッテリー /メモリーカードを入れて、カバーを閉じてください。



ロックレバーを押しながら入れる

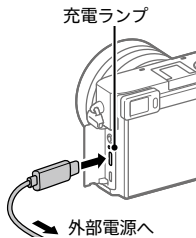


切り欠き部の向きに注意する

このカメラはSDカードに対応しています。

メモリーカードの動作を安定させるために、このカメラではじめてお使いになるメモリーカードは、まず、カメラでフォーマット(初期化)してください。

バッテリーを充電する



外部電源へ

① カメラの電源を切る。

- カメラの電源を入れた状態では、充電は行われません。

② 市販のUSB Type-C™ケーブル(USB-C™ — USB-C)を使って、カメラのUSB Type-C端子とUSB PD (USB Power Delivery)対応機器のUSB Type-C端子をつなぐ。

- 充電が始まると、カメラの充電ランプが点灯します。充電ランプが消灯したら、充電完了です。

出力18 W (9 V/2 A)以上のUSB PD対応の機器、および3 A以上対応のUSB Type-Cケーブル(USB-C — USB-C)を使用してください。

カメラの初期設定を行う

カメラとスマートフォンをBluetooth接続(ペアリング)することで、日時設定などカメラの初期設定をスマートフォンから行うことができます。あらかじめ、スマートフォン用アプリケーションをお使いのスマートフォンにインストールし、「初期設定の手順」の①～③に従って設定してください。

スマートフォン用アプリケーションのインストール



以下のウェブサイトからインストールしてください。
また、スマートフォン用アプリケーションは最新版にアップデートしてお使いください。
<https://www.sony.net/ca/>

初期設定の手順

ON/OFF (電源)スイッチ



コントロールホイール/
中央ボタン

① ON/OFF (電源)スイッチを「ON」にして、カメラの電源を入れる。

- 音声読み上げ機能の設定やプライバシー通知の画面が表示されます。スマートフォンなどで、リンク先にある生体認証に関するプライバシー通知をよくお読みください。

② コントロールホイールの中央を押す。

③ カメラの画面の指示に従って、カメラとスマートフォンの接続、およびカメラの初期設定を行う。

- 初期設定時の設定は、あとでカメラのメニューから設定/変更することもできます。

あとからカメラとスマートフォンを接続(ペアリング)するには



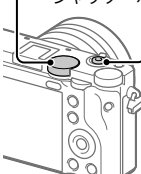
詳しい接続方法は、下記からヘルプガイドをご確認ください。
https://rd1.sony.net/help/dsc/2510_pairing/h_zz/

撮影する

静止画を撮影するには

モードダイヤル

シャッターボタン



① モードダイヤルを回して好みの撮影モードを選ぶ。

② シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせる。

③ シャッターボタンを深く押し込む。

動画を撮影するには

① モードダイヤルを▶(動画)に合わせた後、シャッターボタンを押して撮影を開始する。

② もう一度シャッターボタンを押して、撮影を終了する。

アイピースカップ(付属)を取り付けるには



アイピースカップを取り付けると、ファインダーと目の間から光が入りにくくなるため、ファインダーが見やすくなります。アイピースカップのネジを回らなくなるまで緩めてから、アイピースカップをファインダーに正面から取り付け、ネジを締めて固定してください。

パソコンでRAW 画像を閲覧/現像する

以下のウェブサイトからパソコン用アプリケーションをインストールしてください。またパソコン用アプリケーションは最新版にアップデートしてお使いください。

<https://www.sony.net/disoft/help/>

ラッピングクロス(付属)を使う



カメラを持ち運ぶ際、付属のラッピングクロスをお使いいただくことで、カメラを傷や汚れから保護できます。使いかたについて詳しくは、ヘルプガイドをご覧ください。
https://rd1.sony.net/help/dsc/2510_wrapping/h_zz/

本機について／使用上のご注意

お使いになる前に必ずお読みください

ヘルプガイドの「使用上のご注意」もあわせてお読みください。

表示言語について

本機では、日本語のみに対応しています。その他の言語には変更できません。

スマートフォン用/パソコン用アプリケーションについて

アプリの仕様は予告なく変更されることがあります。

本機の取り扱いについてのご注意

- レンズやファインダーを絶対に太陽や強い光源に向けたままにしないでください。レンズの集光作用により、発煙、火災、ボディやレンズ内部の故障の原因になります。やむを得ず太陽光などの光源下におく場合は、レンズキャップを取り付けてください。
- 太陽光や強い光源がレンズからカメラに入ると、カメラ内部で焦点を結び、発煙や火災の原因となります。本機の保管時はレンズキャップを取り付けて保管してください。また逆光での撮影時は、太陽を画角から充分にずらしてください。光源を画角からわずかに外しても発煙や火災の原因となることがありますのでご注意ください。
- 本機(付属品を含む)は磁石を使用しているため、ペースメーカー、水頭症治療用圧可変式シャントなどの医療機器に影響を与える恐れがあります。本機をこれらの医療機器をご使用の方に近づけないでください。これらの医療機器を使用されている場合、本機のご使用前に担当医師にご相談ください。
- ボリュームは徐々に上げてください。突然大きな音が出て、耳をいためることがあります。
- 本機や付属品、メモリーカードなどは乳幼児の手の届く場所に置かないでください。飲みこむ恐れがあります。万一飲みこんだ場合は、直ちに医師に相談してください。
- ファインダーを使用中、目の疲労、疲れ、気分が悪くなる・乗り物酔いに似た症状が出る可能性があります。ファインダーを使用するときは、定期的に休憩をとることをおすすめします。
- 万一モニターやファインダーが破損した場合は直ちに使用を中止してください。破損した箇所で手や顔等を切る等の怪我をする恐れがあります。
- 静止画を連続撮影したとき、モニターまたはファインダーに撮影画面と黒い画面がすばやく交互に表示されることがあります。このとき、モニターやファインダーを見続けることにより、体調不良などの不快な症状が出る可能性があります。不快な症状が出たときは、本機の使用を控え、必要に応じて医師にご相談ください。
- 長時間撮影および4K動画撮影中、本機が熱いと感じなくても皮膚の同じ場所が長時間触れたままの状態であると、赤くなったり水ぶくれができたりなど低温やけどの原因となる場合があります。以下の場合は特にご注意ください、三脚などをご利用ください。
 - 気温の高い環境でご使用になる場合
 - 血行の悪い方、皮膚感覚の弱い方などがご使用になる場合
 - 自動電源OFF温度を[高]に設定してご使用になる場合

ソニー製純正アクセサリをお使いください

本機を他社製品と組み合わせて使用した際の性能や、それによって生じた事故、故障につきましては保証いたしかねますので、あらかじめご了承ください。

ACアダプター /チャージャーについて

ACアダプター /チャージャーは、お手近なコンセントをお使いください。不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。

ワイヤレスLAN 5 GHz帯についてのご注意

ワイヤレスLANの5 GHz帯は屋外では使用できません。屋外でワイヤレスLAN機能を使用するときは、以下の手順で使用する帯域を2.4 GHz帯に設定してください。

- MENU → (ネットワーク) → [Wi-Fi] → [Wi-Fi周波数帯]

無線に関連する機能(Wi-Fiなど)を一時的に無効にする

無線に関する機能は、[機内モード]で一時的に無効にできます。

Wi-Fi機能をオンまたはオフにする

MENU → (ネットワーク) → [Wi-Fi] → [Wi-Fi接続] → [入]または[切]を選ぶ。

Bluetooth機能をオンまたはオフにする

MENU → (ネットワーク) → [Bluetooth] → [Bluetooth機能] → [入]または[切]を選ぶ。

無線機能使用上のご注意

本機の無線機能は、国や地域によって法規制により使用できない場合があります。お使いになる際は、その国や地域の法規制に従ってください。

本機が出す電波が計器や医療機器等に影響を与える恐れがあるため、飛行機内、病院で無線使用の際は、航空会社、病院の指示に従ってください。

この機器のネットワークモードでの使用時の注意事項 本機は2.4 GHz帯を使用しています。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局（免許を要する無線局）等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。 1. 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。 2. 万一、本機と「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、電波の発射を停止してください。 3. その他、この機器から「他の無線局」に対して有害な電波干渉の実例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、相談窓口へお問い合わせください。 2.4FH8/XX8 2.4DS2/OF2 2.4：2 400 MHz帯を利用する無線設備を表します。 DS/OF/FH/XX：変調方式がDS-SS/OFDM/FHSS/その他の方式であることを示します。 2：想定される与干渉距離が20 m以下であることを示します。 8：想定される与干渉距離が80 m以下であることを示します。 ■■■■■：2 400 MHz～2 483.5 MHzの全体域を利用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを示します。 ■■■■■：2 400 MHz～2 483.5 MHzの全体域を利用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを示します。 IEEE802.11b/g/n 5 GHzワイヤレスLAN搭載モデル IEEE802.11a/n/ac W52 W53 W56 5 GHzワイヤレスLANの屋外使用は法令により禁止されています。

認証マークの表示について
本機が対応している認証マークの一部は、本機の画面上で確認することができます。
MENU→（セットアップ）→[セットアップオプション]→[認証マーク表示]を選択してください。
本機の故障などの問題により表示できない場合は、相談窓口にご相談ください。

保証書とアフターサービス

必ずお読みください

記録内容の補償はできません
万一、カメラやメモリーカードなどの不具合などにより記録や再生されなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。

保証書は国内に限られています
このカメラは国内仕様です。外国で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
ヘルプガイドなどを参考にして故障かどうかお調べください。それでも具合の悪いときは相談窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の交換について
この商品は修理の際、交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

部品の保有期間について
当社はカメラの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後5年間保有しています。ただし、故障の状況、その他の事情により、修理に代えて製品を交換する場合がありますので、ご了承ください。

主な仕様

本体	【ワイヤレスLAN】
【形式】	WW697160
カメラタイプ：	対応規格：IEEE 802.11 a/b/g/n/ac
デジタルスチルカメラ	使用周波数帯：2.4 GHz/5 GHz帯
使用レンズ：	【エコ/省エネルギー】
ZEISS ゾナー T＊35mm単焦点レンズ	消費電力（オフモード）：非該当
	消費電力（スタンバイモード/低電力モード）：0.5 W
【撮像部】	消費電力（ネットワークスタンバイモード）：2.0 W（Bluetooth）/ 2.0 W（すべての端子接続時およびネットワーク接続時）
撮像素子：	省電力モード有効：20分以内（デフォルト）
35mmフルサイズ、CMOSイメージセンサー	消費電力（ネットワークスタンバイモード有効：20分以内（デフォルト）
カメラ有効画素数：	
約61 000 000画素（静止画時）、約50 800 000画素（動画時）	
総画素数：約62 500 000画素	
【電源・その他】	
定格：7.2 V  、3.2 W	
動作温度：0～40℃	
保存温度：－20～55℃	
外形寸法（幅×高さ×奥行き）（約）：113.3×67.9×87.5 mm	
113.3×67.9×74.5 mm（レンズ先端からモニターまで）	
質量：約498 g	
（バッテリー、SDカードを含む）	

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

対応iPhone/iPad

iPhone 16 Pro Max、iPhone 16 Pro、iPhone 16 Plus、iPhone 16、iPhone 15 Pro Max、iPhone 15 Pro、 iPhone 15 Plus、iPhone 15、iPhone 14 Pro Max、 iPhone 14 Pro、iPhone 14 Plus、iPhone 14、iPhone SE（第3世代）、iPhone 13 Pro Max、iPhone 13 Pro、iPhone 13、 iPhone 13 mini、 iPhone 12 Pro Max、iPhone 12 Pro、iPhone 12、iPhone 12 mini、iPhone SE（第2世代）、iPhone 11 Pro Max、iPhone 11 Pro、iPhone 11、iPhone XS Max、iPhone XS、iPhone XR、iPad Pro 13インチ（M4）、iPad Pro 12.9インチ（第2世代から第6世代まで）、iPad Pro 11インチ（M4）、iPad Pro 11インチ（第1世代から第4世代まで）、iPad Pro 10.5インチ、iPad Air 13インチ（M2）、iPad Air 11インチ（M2）、iPad Air（第3世代から第5世代まで）、iPad（第6世代から第10世代まで）、iPad mini（A17 Pro）、iPad mini（第5世代から第6世代まで）（2025年1月現在）

商標・ライセンスについて

- Cyber-shotはソニーグループ株式会社の商標です。
- Apple、iPhoneおよびiPadは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。「iPhone」の商標は、アイホン株式会社からライセンスを受け使用しています。
- USB Type-C™およびUSB-C™はUSB Implementers Forumの商標です。
- HDMI™、HDMI High-Definition Multimedia Interface、HDMIのトレードドレスおよびHDMIのロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または登録商標です。
- Wi-Fi、Wi-Fiロゴ、Wi-Fi Protected SetupはWi-Fi Allianceの登録商標または商標です。
- Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、ソニーグループ株式会社及びその子会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中には™、®マークは明記していない場合があります。

重要 － 本製品の使用を開始される前に必ず、ソフトウェア使用許諾契約書をお読みください。 お客様による本製品の使用開始をもって、お客様がソフトウェア使用許諾契約書の内容にご同意いただけたものとさせていただきます。お客様と弊社との間のソフトウェア使用許諾契約書は、弊社ウェブサイト（https://rd1.sony.net/help/di/el23/h_zz/）でご覧いただけます。

- 「Made for Apple」バッジは、アクセサリが本バッジに記載されたアップル製品専用に接続するように設計され、アップルが定める性能基準を満たしていることを示します。アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。

Made for  iPhone iPad

安全のために

	漏液、発熱、発火、破裂、誤飲による大けがややけど、火災などを避けるため、下記の注意事項をよくお読みください。
--	--

リチャージابلバッテリーパック同梱モデル
バッテリー
バッテリーを誤って取り扱うと、バッテリーが破裂して火災や化学的な火傷が発生することがあります。以下の注意を守ってください。

- 分解や改造をしない。
- ハンマーなどで叩いたり、踏みつけたり、落下させるなどの衝撃や力を加えない。
- ショートさせたり、クリップなどの金属をバッテリー端子に接触させない。
- 直射日光下の車中など、60℃以上の高温の場所にさらさない。
- 焼却したり、火の中に入れたりしない。
- 液漏れや、破損したりリチウムイオン電池を取り扱わない。
- バッテリーは指定された方法以外で充電しない。
- 乳幼児、子供の手の届く場所に置かない。
- ぬらさない。
- バッテリーはソニー純正品を使う。
- 使用済みのバッテリーはリサイクルする。
- ・-20℃以下の過度の低温や11.6 kPa以下の極端な低圧にさらさない。

電池を飲みまないでください。化学やけどの原因となります。本機には、コイン/ボタン電池が内蔵または同梱されています。コイン/ボタン電池を飲み込むと、2時間程度で重度の内臓のやけどを引き起こし、死亡に至ることがあります。新しい電池や使用済みの電池は子供の手の届かないところに保管してください。電池カバーがしっかりと閉じない場合は、使用をやめ、子供の手の届かないところに保管してください。電池を飲み込んだり体のどこかに入れたりしたと思われる場合は、直ちに医師の診察を受けてください。コイン/ボタン電池は充電しないでください。

	下記の注意事項を守らないと、火災、大けがや死亡にいたる危害が発生することがあります。
---	--

 **分解や改造をしない**
火災や感電の原因となります。内部点検や修理は相談窓口にご依頼ください。

内部に水や異物(金属類や燃えやすい物など)を入れない
火災、感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電池を取り出してください。ACアダプターやバッテリーチャージャーなどもコンセントから抜いて、相談窓口にご相談ください。

運転中に使用しない
自動車、オートバイなどの運転をしながら、撮影、再生をしたり、モニターを見ることは絶対におやめください。交通事故の原因となります。

撮影時は周囲の状況に注意をはらう
周囲の状況を把握しないまま、撮影を行わないでください。事故やけがなどの原因となります。

 **通電中のACアダプター、バッテリーチャージャー、充電中の電池や製品に長時間ふれない**
使用中に本機や付属品が熱いと感じなくても皮膚の同じ場所が長時間触れたままの状態であると、赤くなったり水ぶくれができたりなど低温やけどの原因となる場合があります。

ケーブル類を傷つけない
熱器具に近づけたり、加熱したり、加工したりすると火災や感電の原因となります。また、ケーブル類を抜くときは、コードに損傷を与えないように必ずプラグを持って抜いてください。

フラッシュなどの撮影補助光を至近距離で人に向けない
・至近距離で使用すると視力障害を起こす可能性があります。特に乳幼児を撮影するときは、1 m以上はなれてください。
・運転者に向かって使用すると、目がかすみ、事故を起こす原因となります。

カメラのファインダーを通して、太陽や強い光を見ない
視力障害や失明の原因となります。

 **ぬれた手で使用しない**
感電の原因になることがあります。

 **電池やショルダールベルト、ストラップを正しく取り付ける**
正しく取り付けないと、落下によりけがの原因になることがあります。また、ベルトやストラップに傷がないか使用前に確認してください。

	下記の注意事項を守らないと、けがや財産に損害を与えることがあります。
---	------------------------------------

水滴のかかる場所など湿気の多い場所やほこり、油煙、湯気の多い場所では使わない
火災や感電の原因になることがあります。

不安定な場所に置かない
ぐらついた台の上や傾いた所に置いたり、不安定な状態で三脚を設置すると、製品が落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

使用中は機器を布で覆ったりしない
熱がこもってケースが変形したり、火災、感電の原因となることがあります。

 **レンズやモニターに衝撃を与えない**
レンズやモニターはガラス製のため、強い衝撃を与えると割れて、けがの原因となることがあります。

レンズが直射日光にあたる場所に放置しない
光がレンズを通して焦点を結び、火災の原因となります。

ブラケット等を介し、他のアクセサリも取り付けた状態で使用する場合、取扱いに注意する
落下等により、不慮の事故の原因となります。

 **長期間使用しないときは、電源を外す**
長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントから外したり、電池を本体から外して保管してください。

	リチウムイオン電池は、リサイクルできます。不要になったリチウムイオン電池は、金属部をビニールテープなどで絶縁してリサイクル協力店へお持ちください。
	充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については一般社団法人JBRCホームページ http://www.jbrc.com/ を参照してください。

	
---	--

	
---	--

	
--	--

	
---	--

	
---	--

	
---	--

	
---	--

	
---	--

	
---	--

	
---	--

	
---	--

お問い合わせ窓口

●各種お問い合わせ（LINEやメールなど）
詳しくは 以下のホームページをご覧ください。
<https://www.sony.jp/support/inquiry.html>

●電話でのお問い合わせ
【使い方相談窓口】
フリーダイヤル:0120-333-020
携帯電話・一部のIP電話:050-3754-9577

【修理相談窓口】
フリーダイヤル:0120-222-330
携帯電話・一部のIP電話:050-3754-9599

FAX:（共通）0120-333-389
ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

<https://www.sony.co.jp/>